

令和3年2月25日

交野市長 黒田 実 様

特定非営利活動法人 木野環境

代表理事 丸谷一耕

令和2年度交野市環境マネジメントシステム 監査報告書

1. 監査日程

令和3年2月18日(木)

2. 監査目的

交野市環境マネジメントシステム（以下「K-EMS」という。）マニュアルに基づく事務事業について、適切な運用ができているかを検証する。

3. 監査対象

環境マネジメントシステム推進本部事務局(環境衛生課)

星の里浄水場

交野市立いわふね自然の森スポーツ・文化センター（星の里いわふね）

4. 監査チームメンバー

特定非営利活動法人 木野環境 丸谷一耕 宇高史昭 土井美奈子

5. 監査所見

K-EMSマニュアルに基づいて、事務事業が有効かつ適切に運用されていることを確認した。

6. 監査結果詳細

①令和元年度の監査結果による改善について

- 現在のK-EMS（地球温暖化対策実行計画 事務事業編）の見直しは、環境基本計画の改定にあわせて行われています。
- K-EMSの運用状況の分析、評価については、積極的に環境省の地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム（LAPSS）を活用するなど工夫されています。今後全庁での取組への関心を高めるため、結果や成果などが職員へ周知できるようさらに検討することが望まれます。

- ・ K－EMS の取組の硬直化を防ぐために、各部署で活動を強化されていますが、取組成果の分析、評価に基づく重点取組などを引き続き実施してください。
- ・ 法令順守については引き続き各部門で徹底をお願いします。
- ・ K－EMS の緊急時対応については、マニュアルの見直しが行なわれています。

② K－EMS における数値目標の検討について

令和元年度における市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、基準年と比べて 27.7%削減した成果を残していますが、K－EMS に掲げた温室効果ガス算定項目としてあげている電気使用量など一部の項目では数値目標を達成できていません。施設の改修や省エネルギーの取組を反映できるよう、今後は計画改定とあわせて市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量全体の目標数値とエネルギー消費量削減目標の評価方法について検討が望まれます。

③ マニュアルの見直しについて

- ・ 進行管理における集計において、全職員がエネルギー消費低減への意識が高まるように、今後各部署の役割が明らかにできるような検討が望まれます。
- ・ 全職員が実施する取組の(5)廃棄物の排出量の削減において、海洋プラスチック問題へ対応の観点から、廃棄物の分別だけではなく、グリーン購入の推進の中で、発注者にプラスチック容器の利用削減の取組みや自動販売機のプラスチック容器利用削減なども追加されることを要望します。
- ・ 職場ごとの取組の(7)環境に配慮した施策・事業の推進において、再生可能エネルギーの導入、器具設備の省エネルギー化改善、低燃費車の導入なども追加されることを要望します。
- ・ その他監査の体制も含めて今後見直しを検討してください。